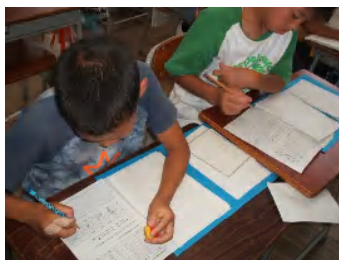


C-2 個人データによる意欲付け

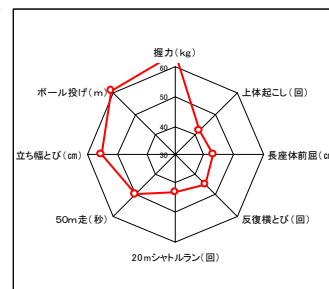
学校行事として4年生以上で体力テストを2時間、体育の授業の中で1時間をとった。テスト前には、それぞれの種目がどんな力を測定するものなのかを説明し、今の自分の力を知るためのものであることを意識させるようにした。

テスト後、自分のデータを整理し、個人用FDに保存することとした。FDには4年生までの身長と体重の変化が記録されており、まずそこに5年生になったのデータをつけ加えることで、自分の体がさらに成長したことを確認し合った。そして、自分の体についてさらに知ることができるものとして、今回の体力テストの個人データを入力した。データ整理には、県教育委員会スポーツ健康課作成のExcelファイルを利用させていただいた。数値だけではとらえにくいのが、簡単にレーダーチャートでグラフ化することができ、児童にとってはとてもわかりやすいものにする事ができた。

県や全国平均と比較し、自分にはどんな力があり、どんな力が足りないのかを知ることで、「体力を高める運動」の必要性、そしてその中での自分自身の課題を考え合った。



自分自身の課題を考える児童



体力テストの個人データ例